

北海道中川町が、力を入れている子育て支援施設整備の一環として、2018年春に幼児センターを移設。新築された新センターは林業で栄えてきた中川町の地域色を生かす木造建築が採用され、木の温もりや柔らかさが感じられる室内に、教育・保育環境に適した5000KのLED照明器具が明るく清潔感ある光空間を創り上げています。

北海道北部を流れる天塩川の中流域にあり、北海道の美しい大自然に恵まれた中川町では、町づくりの基本である「元気なひとづくり」の最優先課題として、子育て環境の充実化を推進。その一環として2018年春、老朽化が進んでいた幼児センター施設を新築移転しました。認定こども園機能と子育て支援センター機能を持つ新センターは、安全で安心できる保育・教育の場として、子育て情報の共有の場として、地域全体で子育てを支援する拠点として、期待されています。



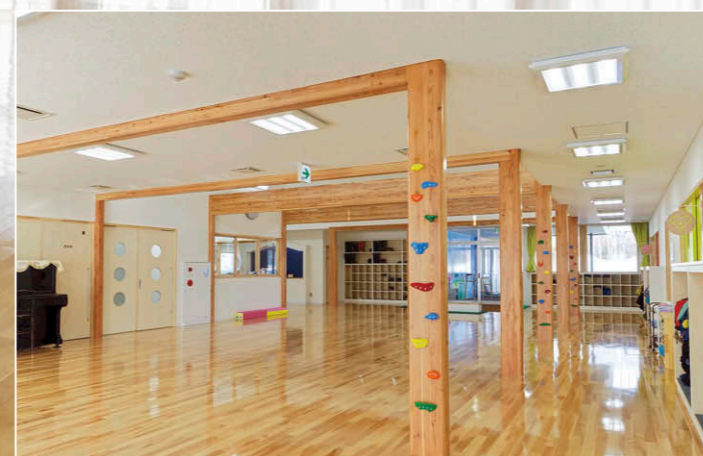
【物件概要】
所在地：北海道中川郡中川町字中川 217 番地 2 の内
延床面積：881.09m²
構造・規模：木造・平屋建
施主：中川町
設計：㈱IA 研究所
施工：建築/高組・中川建協経常建設共同企業体
電気/㈱三和電機
竣工：2017年12月



エントランス付近 空間を広く見せるTENQOOシリーズウォールウォッシャー②をライン状に設置。



多目的ホール(左)/図書コーナー(右) 影が生じにくく絵や字が見やすいスクエア器具①による照明環境。/多目的ホール通路側にはLED一体形ダウンライト③を整列配置。



遊戯室(大写真:エントランス側より/右下写真:テラス側より) 白い天井にスッキリとなじむ薄形設計のTENQOOスクエア□570①を等間隔で配置/高天井部壁面にはTENQOOシリーズウォールウォッシャー直付形②を連結設置。



子育て支援室「まめちよ」 園児に限らず地域の未就学児をもつご家庭をサポートする子育て支援センターに採用されたTENQOOスクエア①。

木のもつ癒しの効果を生かした明るい保育・教育環境を TENQOO スクエアにより実現。

“木を見せる”ということを意識した空間づくりとなっている幼児センター内は、全体的に外光をできるだけ活かしながら照明のあかりが違和感なく自然な感じで馴染むように照明設計されています。

センター内で最も広い遊戯室は、子どもたちが直接木と触れ合える木柱と太い梁が印象的な全面フローリング仕上げの空間。エントランス寄りの半面が高天井となっており、その壁面に設けられた面積の広い上窓とテラス側の窓から外光をふんだんに取り込んでいます。

この外光を活かしながら明るい照明環境を創出できるように、ベース照明には6,850lmのFHP32形×3灯用器具相当タイプTENQOOスクエア器具が採用され、高天井部の側面には5,200lmタイプのTENQOOシリーズウォールウォッシャーが3.3mの高さにライン状に設置されました。共に5000KのLEDバーと組み合わせられ、明るい昼白光が空間のすみずみまで行き渡り、Ra83の色再現性と合わせて、教育・保育の現場にふさわしい照明環境を創り出しています。



① TENQOOスクエア直付埋込兼用形□570下面開放タイプ
② TENQOOシリーズウォールウォッシャー直付形40タイプ
③ LED一体形ダウンライト

主な掲載機器一覧				
設置場所	器具名(品種名)	形名	台数	備考
屋内	①LEDベースライトTENQOOスクエア直付埋込兼用形□570下面開放タイプ	LEKT750652N-LD9	61	消費電力:93W
	②LEDベースライトTENQOOシリーズウォールウォッシャー直付形40タイプ	LEKT411403N-LS9	36	消費電力:24.8W
	③LED一体形ダウンライト	LEDD87003N(W)-LS	53	消費電力:9.5W